

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2020.11 >

BULLETIN

2020年7月～2021年6月



国際会長 Jacob Kristensen「VALUES , EXTENSION and LEADERSHIP」(デンマーク)
アジア太平洋地域会長 David Lua「Make A Difference / 変化をもたらそう」(シンガポール)
東日本区理事 板村哲也「Let' enjoy Changes / 変化をたのしもう！」(東京武蔵野多摩)
関東東部部長 柿沼敬喜「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」(東京グリーン)
クラブ会長 西澤統一「ワイズの絆を広げよう」(グリーン)

会長 西澤 統一
副会長 浅見 隆夫
副会長 青木 方枝
書記 布上征一郎
会計 青木 方枝
監事 柿沼 敬喜
担当主事 木村 卓司

11月 アドベント／マリアの賛歌

「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。身分の低い、この主のはしめにも目を留めてくださったからです。」
<この小さな自分にも神さまは目を留めて役目を与えて下さる。この心を持って、奉仕の業に励みましょう>
(ルカによる福音書1:47-48)

2020年11月 第一例会

日時:2020年11月18日(水) 15:00～17:00
場所:東京YMCA東陽町センター YMCAホール
江東区東陽 2-2-201 TEL03-3615-5565

受付:布上君 司会:浅見君

開会点鐘 西澤会長
ワイズソング・ワイズの信条 全員
聖句・お祈り 西澤君
ゲスト・ビジター紹介 西澤会長
<ドリンクを配布>

ゲストスピーチ 東京むかでクラブ 長谷川正雄君
「・・・わすれたところに・・・阪神大震災の経験他」

ニコニコ献金 全員
神田川関連報告 神田川委員会
YMCA 情報 木村君

Happy Birthday (11月生まれ、該当者おりません)
ニコニコ発表 青木君
閉会点鐘 西澤会長

強調月間「ワイズ理解／ASF・FF」

ワイズ理解:1928年11月10日に、日本で最初のワイズメンズクラブ「大阪ワイズメンズ倶楽部」が国際協会に加盟を認証されました。日本区(当時)ではこれを記念して、1993年にこの日を「ワイズデー」と決めました。これにより11月を「ワイズ理解」の強調月間としています。

東日本区理事 板村 哲也(東京武蔵野多摩)

ASF:Alexander Scholarship Fund の略で、国際協会の基金のひとつ。主としてYMCA の職員やYMCAに連なるユースの研修費用に用いられている。(献金500円以上)

FF:Family Fast の略でTOF を家庭内や、友人、知人に呼び掛けて行う献金。ファミリーファスト(FF)は東日本区が独自に取り組んでいる国内の献金プロジェクトです。タイム・オブ・ファスト(TOF)が例会での食事を抜き金額相当分を献金するのに対し、ファミリーファストは家庭内や、友人、知人に協力を求め食事代を献金し、東日本区内のHIV/AIDSに関わる活動に用いられます。(献金500円以上)
地域奉仕・YMCA サービス事業主任 小原 史奈子
(東京たんぽぽ)

(理事通信11月1日号より抜粋しました。 布上)

【例会出席率】 在籍:16名 メーキャップ3名 出席率 10/16 63%

出席: 10月14日 Zoom 例会兼役員会(メン7名参加)

【ニコニコ】 (10月は Zoom 例会のためニコニコなし)



10月は事業委員会・役員会・例会 共に Zoom によるリモート会議とした。



2020年10月14日(水) am11:00~13:00グリーンクラブ所有のアカウントによる Zoom リモート例会兼役員会を行った。本来は翌週、21日(水)の夕方、東陽町、東京YMCA で例会実施予定であったが、メンバーの意向によって、特別の対応になった。リモート出席は青木・浅見・柿沼・佐野・西澤・樋口・布上S。

同様に11/4、11/11にその週の11月14日(土)に行われる「第2回関東東部評議会」の詳細を詰めるために連続で Zoom 会議を行った。参加メンバーは上記と同様。当日の協議も含め、11月現段階での協議事項及び決定事項は以下の通り。

11月の予定確認

- ・11/11(水)15:00~ 役員会(以下の事項を確認)

11/14(土) 第2回関東東部評議会 の確認事項

- ・ハイブリッドZoom会議/マスク着用/マイク消毒
- ・東京YMCA東陽町へ12:00集合準備
出席:柿沼・樋口・布上(N)・西澤・青木・布上(S)
木村主事 /浅見主査は Zoom 参加に
- ・評議会ワークブック作成/横断幕作成/席名札作成
/備品一式準備
- ・12日に布上・木村、YMCA で前準備、Zoom 確認

11/18(水) 例会 15:00~17:00 東陽町YMCAホール (リアル会合)

- ・スピーカー:長谷川正雄メン(東京むかで)
「わすれたところに...阪神大震災の話他」
食事なし。/ドリンクを現地調達(クラブ負担)
ニコニコは行う
- ・卓話をいただく長谷川メンのプロフィールは右に掲載

12月の予定

- ・本日の役員会で 樋口メン 次期クラブ会長 受諾
*キャビネット・事業委員は全部留任を希望(樋口)

<日程・時間変更>

- ・12月23日(水) クリスマス例会 13:00~15:00
食事会 YMCA東陽町
*大新の特製弁当で昼食会・ドリンク付き
メンバーの近況スピーチなどを検討

*11月、12月の和泉橋会館(秋葉原)は部屋の予約をすべてキャンセルしました(11/4 TEL)

2021年1月の予定

- ・1月13日(水) 役員会はZoomで 15:00~17:00
- ・1月20日(水) 例会は...新年会?
新年会 食事会 → 西本メンに銀座ライオンの予約を?

*1月の在京ワイズ新年会は中止の方向(幹事クラブ、江東クラブが11月内に決定する)

(布上 記)

11月例会ゲストスピーカー・プロフィール

長谷川正雄メン

ワイズとの出会い

- ・1982年(昭和58年)
東京むかでワイズメンズクラブ入会
- ・趣味を生かしてのワイズでの絵画展
1988年「野口英世青春通り絵画七人展」
(金原 譲氏他・仙台青葉城)
2003年「東京YMCA 神田会館を描く・二人展」
(斎藤 實氏・東京北)

仕事のこと

- ・大手建築設計事務所を経、1979年 一級建築士事務所長谷川正雄設計事務所を設立
- ・作品など 軽井沢三笠ホテルの重要文化財化のための監修・設計監理担当
高松グランドカントリークラブハウスなどの諸施設の設計監理担当
鶴屋八幡東京本店ビル及び諸施設の監修・設計監理
谷中 曹洞宗・安立院 設計監理

- ・出版物 共同著作
「欠陥住宅の見抜き方・直し方」

11/18 例会卓話 演題 (当時の写真を見ながら)
「...わすれたところに...阪神大震災、他」

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
第一勧業信用組合 東浅草支店
010-6844573
東京グリーンワイズメンズクラブ
会計 青木方枝

11月 Happy Birthday

(当月は該当者はありません)

千代田区立昌平小学校校外学習クルーズ

迷走の挙句、なんと、ついには太平洋上を南に去った台風14号。その“桎梏”から解放された10/13(火)でした。暑いくらいの夏日和です。午前・午後2回に分けて、昌平小4年生40名と引率の先生方をご案内。ガイドおよびサポートにあたったのは、柿沼、樋口、目黒です。

当初コロナ禍にて「今年は中止」のご意向だったが、急転直下、実施の運びになりました。船は三浦屋粋人丸。乗船者を定員の50%以下にし、アルコール消毒を徹底した船内です。コースは、神田川/和泉橋防災船着場→神田川上る→日本橋川下る→隅田川上る→小名木川/扇橋閘門(往復)→隅田川上る→神田川/和泉橋防災船着場戻り。昨夏、2年間の耐震補強工事を終えた(新しい)扇橋閘門の体験を目玉にしました。なお、学校では水処理施設見学や公園協会の体験乗船なども行って「水」の学習に力を入れていらっしゃる由。心強い！ってか手強い！

しかし、午後便は満潮に近づく時間帯だった上に、気圧が低いため水位が上昇、閘門(こうもん)直前の新高橋(しんたかばし)(コース中最も桁下高が低い)が立ちはだかりました。「くぐれても戻れない」との新倉(若)船長判断で引き返し。その分、隅田川は浅草の駒形橋まで北上していただきました。午後のみなさん、ちよっぴり残念。(新高橋で泣いたのは私、3度目。)

以下、船上の様子。“毎年同じように”みんな元気。



隅田川大橋～清州橋で。風に吹かれ景色を眺めてお喋り



扇橋閘門で。前扉と後扉に囲まれた閘室の水位が下がり始めひと騒ぎ。

1年半ほど大型台風やコロナで神田川船の会の多くのイベントが中止になっている中、今回の行事は久々でもあり、意義深いものがあります。私如きがおこがましいが、昌平小行事への参画はボランティアの原点のようにも思えます。

2年前から小学生向けに資料を作り、イベント前の授業で配布、説明しています。習っていない漢字は、回避ないし

ルビを入れます。しかし、所詮は当日のガイド説明が大事。わかりやすく話す、歴史は習っていない→古い話ばかりしない、よくある「単語で解らせる」はダメ等々。例えば、神田上水の掛樋(かけひ)と言っても、大人もガイドも具体的に《形状、材質、寸法等々》が解っていないから、こどもにも説明できない。

限界も感じますが、気付いていることもあります。移り行く景色に沿って、歴史的な単語を機銃掃射してはだめですが、印象に残る/残りそうなことを一つのイシューissueとして説明することは有効に感じています。

ともあれ、終えればジーンとしみてくる。特に今回は、マスク姿のこどもたちが健気に、とても愛おしく感じられました。こどもはかわいい。お世話になった昌平小の先生方、新倉社長以下三浦屋のみなさん、関係各位に御礼申し上げます。(目黒 記)

車椅子贈呈式に出席して

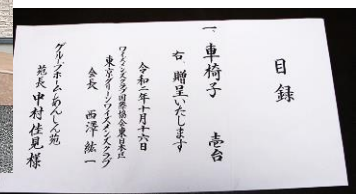
去る10月16日午前10時からグループホーム“あんしん苑”にてグリーンクラブ会長代理としてプルタブ収集による車椅子の贈呈式に出席しました。

今回はコロナ禍を考慮して、贈呈先の苑長と今回の仲介の労を頂いた地元の太極拳リーダーと私の3名に絞っての出席となりました。

しかし、車椅子1台当たり約700kgのプルタブを収集せねばと聞いておりますが、正直なところ、“あんしん苑”のある地元住民が健康維持のために団地内公園で10年来自由参加での「早朝太極拳」を行っている方達の中に、私も地元住民の一人として参加していた折に、皆様に声掛けをしたのがきっかけとなり、年々仲間の輪が広がってきて、地元の方々の知人、友人達からも持参して頂きましたが、それでもせいぜい100kg程度で、その他のプルタブはグリーンクラブのメンバーはじめ他クラブからの提供によるものです。改めて、ご提供いただいた皆様には厚くお礼申し上げます。

なお、今年も“あんしん苑”から車椅子への要望がありましたので、駄目目で再申請を提出したのが実情です。

地元の皆様もまさか自分達が持ち寄ったプルタブで車椅子の贈呈が目前で実現するとは思っていなかったようで、喜びはひとしおでした。今回、ワイズの奉仕活動の一端を見せることが出来たことは、大いにワイズメンズクラブのPRになったものと思っております。(柿沼 記)



ブリテン映画館

映画「カーネギーホール」



監督:エドガー・G・ウルマー
主演:マーシャ・ハント、ハンス・ヤーライ
公開:1947年(日本公開は1952年)
製作国:アメリカ合衆国 上映時間:144分

カーネギーホールはニューヨークマンハッタン7番街57丁目にあるコンサートホールです。鉄鋼王と呼ばれたアメリカの実業家アンドリュー・カーネギーにより1891年に創設されました。以来、クラシック、ジャズ、ポピュラー音楽など、西洋音楽の世界の頂点として君臨してきました。

ロビーには歴代の著名な出演者の写真が飾られています。チャイコフスキー、ラフマニノフ、ガーシュインをはじめ、ワルター、トスカニーニ、デューク・エリントン、ビートルズ、ダイアナ・ロスその他キラ星のようにスーパースターが並んでいます。

‘77、’78NYにいたころ、地下鉄(E,F)の出入口近くだったので、時々会社帰りに楽しんだことが思い出されます。切符が安く、すぐ手に入りました。(余談ですが、隣のレストランはシャリアピンスターキ発祥の地でした)

さて今回ご紹介するのはCDレコードではなく、1947年に米国で公開された音楽映画「Carnegie Hall」です。カーネギーホールに勤めるノラは、息子のトニーを将来クラシック音楽家として大成させたいと願い、舞台脇で著名な音楽家の演奏を聴かす・・・

ストーリーは大したことありませんが、見どころはその合間に当時NYで活躍した巨匠の往年の演奏と動画が楽しめることです。

ワルター/NYフィルによるマイスタージンガー前奏曲、ピアテゴルスキの白鳥、ルビンシュタインの英雄ポロネーズ等々、中でもハイフェッツ/ライナーのチャイコフスキーは感動ものです。

光と影の効果がすばらしいのもこの白黒映画の魅力です。また出演者の上品な英語は、このホールの格調の高さを表現していると思いました。いまYouTubeでもご覧いただけます。

(樋口 順英 記)

YMCA コーナー

1. 7月に発生した熊本豪雨災害による被災者支援として、熊本YMCAが運営委託を受けている「旧熊本県立多良木高校避難所」に、東京YMCAからも9名の応援スタッフを順次派遣しました。同避難所には9月25日現在約150人が避難しており、YMCAのスタッフは、施設の整備や衛生管理、食事の配膳、救援物資の仕分け、子どもの遊び、健康のための運動指導など、運営全般に携わりました。なお、全国で引き続き「熊本豪雨災害・ポジティブネット募金」を受け付けています。

2. 冬期キャンプやスクールは、定員を減らすなど新型コロナウイルス感染対策を徹底し、ファミリーキャンプやネイチャーキャンプなどの新しい企画も取り入れて実施します。10月28日より一般受付をスタートし募集中です。また一部のコースは、GoToトラベルキャンペーンの適用となるプログラムもあります。



3. デルタ航空をはじめ、山中湖センターと関係の深いいくつかの企業や個人のご寄付により、山中湖センターに新しい手漕ぎのカッターボートが寄贈されました。シーズンキャンプをはじめ、山中湖センターでの野外プログラムで活用していきます。なお、山中湖センターは2023年に100周年を迎えます。



4. 例年とは異なった様式で開催されたチャリティーランですが「こどもウォーク」「プレ・イベント」「本レース」全て合わせますと、総歩数は89,739,464歩、距離に換算しますと約62,701km、地球およそ1.5周分となりました。参加・協賛くださいました皆さまに心より感謝申し上げます。

34th TOKYO YMCA International Charity Run 2020
ありがとうございました!
「東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン2020」は、11月1日23:59をもちまして終了いたしました。
約62,701km=地球1.5周達成! (地球一周40,075km)

(担当主事 木村記)